



農協直売所建設予定地

報の発信を図っていく。

◆農業再生プロジェクト

問 農協直売所新設の場所と規模は。(中村)

答 歯科大南のぶどう園。2千300㎡の敷地。300㎡の建物である。現施設の跡利用は検討中である。

問 農家レストランができれば要望したい。(中村)

問 地域農産物ネットワーク事業で学校給食食材の調達も組込むのか。(中村)

答 実証実験の段階で、数校で実施する。

問 ひとり親家庭支援でIT技術の訓練を受けた皆さんの雇用の場になるか。(中村)

答 その通りである。

◆観光振興について
問 地域に住む人々も強く同じ思いを持つことが大切。観光ガイド養成と地域資産検定

制度の創設を。(横沢)
答 特化したガイドの活用、人材のすみ分けを行っている。検定制度は関係団体と連携協議し研究したい。

災害に備える

◆節電への取り組み

問 電力量を計測し節電に寄与できるデマンドシステム導入をさらに進めては。(金子)

答 電力使用量の大きな施設へ優先的に導入を検討する。

◆防災、減災へ再確認
問 老朽化した消火栓がある。実態の掌握と対応は。(鈴木)

答 消防団による点検をもとに速やかに対応している。点検の判断基準を、初期消火で



初期消火に重要な消火栓

の一般市民の利用を想定したものとすることで再確認し、迅速な消火活動に備えていく。
◆市内の井戸調査について

問 調査後、防災時の生活用水としての活用は。(宮田)

答 基礎資料として活用できるように整備していきたい。



市内にある井戸

◆除雪重機の待機料

問 冬の除雪や凍結事故防止体制を強化するため、重機の待機料の値上げを。(永井)

答 市内の除雪対象市道は263路線、延長約226kmを、33業者49台で作業しているが、市民の安心生活に、除雪の継続は重要。除雪機械の待機補償費を県と同様の基準に引き上げ、平成24年度の当初予算に約3千万円を計上している。

◆環境行政について

問 最終処分場の焼却灰、埋立てごみの資源化を。(横沢)



朝日村最終処分場

答 ごみの減量化は分別収集をこまめに行い努力している。現在埋め立て処理されている焼却灰や陶器類等の資源化についても今後研究したい。

少子化対策

◆不妊・不育症に支援を

問 天使のゆりかご支援事業の実績は。妊娠しても流産を繰り返し出産を諦めてしまう事がある。対象に不妊・不育症と明記すべきでは。(山口)

答 平成17年度から助成している。累計243人の申請があり142人の赤ちゃんが誕生している。不妊・不育症が対象の助成なので明記していく。